

地域とつながる取組を紹介します！

能代市では、令和2年度より中学校区を基本として、全ての小・中学校に学校運営協議会が設置されました。今号では、湊城西小学校における地域とつながる取組を紹介します。

湊城西小学校の取組～高橋 直樹 校長より～

本校では、学校運営協議会の制度の趣旨を活かして学校の目標やビジョンを地域と共有し、地域ぐるみの「連携・協働」に努めています。学校運営協議会は年に3回（6月、10月、2月）行われ、「あきた型学校評価」に沿って教育目標の重点項目について協議し、教育活動の活性化を図れるようにしています。

さらに、学校運営協議会の委員でもある地域学校協働活動推進員の方には、**地域と学校の授業を結び付けるコーディネート役**を担ってもらっています。

たくさんの地域の方々には学校運営に参画いただいていることは大変有り難く、子どもたちが様々な人に出会って、共に活動することは、本当に価値あることだと感じています。

また、中学校区ごとに学校運営協議会が設置されていることで、小中連携を無理なく進めることができます。児童生徒の交流も図りながら、円滑な接続に繋がりたいです。



「優しい笑顔の校長先生」
湊城西小学校 6年生作

取組の具体

地域学校協働活動推進員の方が、生活科や総合的な学習の時間等の相談にのり、地域とのつながりをコーディネートをしています。

ねぎ畑見学（3年生）



能代市は「白神ねぎ」の産地です。社会科の授業と関連付けて、ねぎ農家の方に話を聞きに行きました。

「白砂青松」活動（4年生）



学区にある防風林「風の松原」の学習では、「風の松原に守られる会」の会長に、歴史等の話を聞きました。

木材工場見学（5年生）



総合的な学習では、ふるさととの産業を知るために、地域学校協働推進員の方の紹介で、木材工場に見学に行きました。

天空の不夜城（6年生）



6年生は、能代市の伝統行事に参加します。天空の不夜城実行委員の方と田楽づくり等を行っています。

クラブ活動（4～6年生）



年8回のクラブ活動は、「ふるさと先生」が指導します。「絵手紙クラブ」や「着物・礼法教室クラブ」など、全てのクラブにふるさと先生が関わります。

～難波指導教諭のつぶやき～

「育てたい児童像」を共有することで、地域学校協働活動推進員の方と、より円滑な連携ができるようになったそうです。

「総合的な学習でこんな学習がしたいのですが…」と地域学校協働活動推進員の方に相談すると、教員だけでは気付かなかった良いアイデアを教えてください、授業づくりに活かされることも多々ありました。

